

RI2820地区

水海道ロータリークラブ



四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

2013-2014年度 RI会長
ロン D. バートン

次回例会予定 5月28日 移動例会 幸すし
6月 4日

VOL. 51 No. 37(通算No. 2399)

2014年5月21日(水) 例会プログラム

点 鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
S A A 報告
諸 報 告
幹 事 報 告
会 長 挨 拶
外 部 卓 話



写真提供:青木正弘会員

2013-2014年度 会長 熊谷 昇 幹事 染谷 秀雄

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎近況報告 ボーイスカウト・ガールスカウト

ビ ジ タ ー

米山奨学生 金 ウンビさん

ボーイスカウト常総第一団 団員長 吉川浩嗣様

ガールスカウト茨城第38団 団員長 庭川弘子様、副団員長 稲葉純子様

誕 生 祝

《ご夫人》五木田(益)会員

米山奨学生 金 ウンビさん挨拶



こんにちは。金 ウンビと申します。日本に来て7年経ちます。

韓国でエアロビをやってました。日本で大震災の後にボランティア活動としてエアロビを教えました。

非常勤とかで大学でもエアロビを教えています。研究の方ですが筑波大学の博士コース、体育専門なんですけど、体を動かす時に音楽を聴きながらや、ふれあったり、仲良くなれるような運動プログラムの開発を研究しています。宜しくお願いします。

幹 事 報 告 染谷秀雄幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

理事・役員会報告

1. わんぱく相撲協賛金について……例年通り3万円
2. クールビズ 6月～9月
3. 新旧委員長会議……6月12日(木) 於:満月

……承認されました……

会 長 挨 拶 熊谷 昇会長



ご挨拶申し上げます。

さて、サッカーのワールドカップ(W杯)ブラジル大会・日本代表 23 選手が発表になりました。

ザッケローニ監督は、「たくさんの攻撃的選手を選ぼうと決断した。自分たちで主導権を握るサッカーをする。日本らしいパスでつなぐ攻撃的なサッカーで臨む」と空中戦の高さよりも、日本人選手の持つ正確な技術・スピードを評価し、自分たちのサッカーができる選手を選考、地上戦で相手を攻略するとのメッセージをマスメディアも好意的につたえています。皆さんはどのようにお感じになったのでしょうか？ブラジルでの開催は 64 年ぶりとのことですが、6 月 12 日(日本時間 13 日)に開幕です。どんなサッカーが展開されるか今から楽しみです。ただ日本の裏側での大会です。早朝や深夜の放送になるのですが、寝不足になるような活躍を期待したいと思います。

今日はボーイスカウト常総第一団団長吉川浩嗣様・ガールスカウト団長庭川弘子様そして 2014-15 年度米

山奨学生のキム・ウンピさんにおいでいただいております。会員一同ご歓迎を申し上げます。

米山奨学生のキムさんは、以前当クラブの納涼会に2011-2013年度米山奨学生のジョン・ジオンさんのお友達ということでご参加いただいたことがありますので、顔をみてご存知の方もいらっしゃると思います。

皆様にはこの後、それぞれスピーチをお願いしております。よろしく願いいたします。

ロータリーソングについてのお話をいたします。

ロータリーにおいて、「歌を歌うということ」、を始めた人は、1905年にロータリーが創立したとき、最初に会員となったポール・ハリスと、シルベスタ・シール、ハイラム・ショーレー、ガスターバス・ローアの4人に次いで、5番目にロータリーに入った人、ハリ・ラグルスです。しかし、今世紀初頭の欧米では「歌を歌うこと」「コーラスすること」は、人々のごく一般的な風潮でしたから、彼が特に変わった趣味をもっていた、というわけではありません。産声を上げたばかり、1905年のロータリークラブの、ある秋の夜の例会について『奉仕の一世紀 国際ロータリー物語』(P 30)には、以下のように記されています。

1905年のある秋の夜、例会で一時的な静寂が訪れた。会話のざわめきが突然止んだ。警告もなく、ハリ・ラグルスが自ら立ち上がって「おい、みんな、歌おう！」と当時流行っていた歌を何曲か音頭を取って歌った。以来、例会での合唱は、ロータリーの伝統となった。これが、ロータリーの例会で歌を歌った最初のシーンです。このとき歌われたのは、当時の流行歌でした、

日本では当初英語でロータリーソングを歌っていたようですが、日本語によるロータリーソングを求める声が高まり、「奉仕の理想」や「我等の生業」が1935(昭和10)年、京都における地区大会において、日本語ロータリーソング入選作として発表されました。戦争中は、「君が代」の斉唱が始まりました。1949年、日本は国際ロータリーに復帰しますが、1951年にロータリーソングが募集され、「手に手つないで」がつくられました。これは、1952(昭和27)年7月から、日本のロータリーが2つの地区に分かれるという事態に当たり、これからも友情を確かめ合い、手に手つないでいこう、と誓い合った歌です。

日本のロータリークラブでよく歌われている歌は、「奉仕の理想」「我らの生業」「それでこそロータリー」「手に手つないで」といったところでしょうか。しかし、独自の歌をつくって、例会で歌っているクラブも少なくありません。クラブの歌が、ほかのクラブからメークアップに訪れたロータリアン(ビジター)や、卓話者などのゲストを歓迎するための歌をつくっていて、例会に出席をすると歌ってくださるクラブもあります。ロータリーソング以外の歌を取り入れているクラブもあります。どのような歌が歌われているのかと言えば、会員の年齢によって違って来るようです。

明日はクラブの親睦ゴルフ会です。参加される皆様には、十分体調を整えてご参加をいただき親睦を深めていただきたいと思います。挨拶を終わります。

近況報告

ボーイスカウト常総第一団 団員長 吉川浩嗣様





ガールスカウト茨城第38団 団員長 庭川弘子様



5月11日に連盟の総会があり、9名の理事が決まりました。
 その時に、40年の表彰を受けました。
 第38団は、子ども18名・大人18名がおり、親子で活動をしています。
 昨年より、坂東市に場所を借り、田植えをしたり、ジャガイモを植えたりしています。また、3. 11以来福島の子供達を招いてキャンプをしています。今年は、あすなろの里でした。
 毎月2～3回、活動をしています。これからもご支援宜しく願い申し上げます。

出席報告 高須 薫副委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	賜 暇	メーク	出席率
55名	41名	14名	0名	14名	100.00%

ニコニコボックス 倉持功典委員長

入金計 ¥21,000 累計 ¥1,788,000

誕生祝御礼《ご夫人》五木田(益)会員

ボーイスカウト吉川様、ガールスカウト庭川様、稲葉様、そして米山奨学生の金 ウンビさん、ようこそ。会員一同ご歓迎申し上げます。 熊谷会員

親睦ゴルフガンバリます。 染谷(秀)会員

明日、ゴルフに行きます。 武藤会員

吉川様、庭川様には青少年の育成に大変ご苦労様です。ありがとうございます。 染谷(昭)会員

ボーイスカウト、ガールスカウトの皆さん、頑張ってください。 秋田会員

金 ウンビさん、宜しくお願いします。 五木田(利)会員

この世には、誰からも非難されない人などいません。黙っていても非難され、多くを語っても非難され、少し語っても非難されるものだ、心得て生きましょう。 青木(正)会員

その他 山野井会員

早退します。 小島会員

例会欠席しました。 斎藤会員

会報委員会 五木田利明委員長 青木清人副委員長

親睦ゴルフ大会

平成26年5月15日(木) 於:水海道ゴルフクラブ



優勝:松崎隆詞会員

準優勝:砂長秀和会員

3位:染谷正美会員

WHO (世界保健機関) が東南アジア地域でのポリオ撲滅宣言を公式に表明



3月27日、世界ポリオ撲滅計画(GPEI)は、WHO(世界保健機関)が東南アジア地域の国々でポリオが撲滅したことを祝いました。ポリオに終止符を打ち、そのことによって多くの利益がもたらされる、歴史的な出来事です。この地域の11か国(バングラデシュ、ブータン、北朝鮮、インド、インドネシア、モルディブ、ミャンマー、ネパール、スリランカ、タイ、東ティモール)には、約18億の人が住み、世界を6つに分けたWHOの地域で公式にポリオ撲滅が認められた4つ目の地域になります。

かつてポリオの撲滅が最も難しいと考えられていたインドで2011年1月13日を最後に発症していないことが、この地域での撲滅宣言を可能にさせました。スリランカ、モルディブ、ブータンなどの国では、すでにポリオが撲滅されており、この日が来るのを15年以上待っていました。

これらの国々でポリオを撲滅するために築き上げられた優れたシステムは、現在、ほかの保健優先事項を推進するために使われています。バングラデシュでは、義務付けられているワクチン(ジフテリア、破傷風、百日ぜき)の接種率が、ポリオ撲滅活動を強化していた2000~2012年の間に82%から96%に上昇。ネパールでも74%から90%に上がりました。またポリオサーベイランス(調査監視)のネットワークを生かして、はしか、新生児破傷風、日本脳炎のような、ワクチンで予防可能な疾病の感染経路を追跡している国もあります。

東南アジア地域においてポリオ撲滅が達成できたのは、ワクチン投与キャンペーンを実施するという各国政府の前例のない取り組みのたまものです。キャンペーンでは、何百万人という地域の保健従事者やボランティアたちが、街の最もにぎやかな通りに面した家から、辺境の地にある家に至るまで、一軒一軒献身的に訪問し、ワクチンを受けた子どもの総数は、17年間で75億人に上りました。1995~2012年の間、ポリオプログラムは同地域のいたるところで189の全国的なキャンペーンを行い、130億ダースの経口ワクチンが投与されました。

同地域の撲滅の達成は、2018年までにポリオのない世界にするというGPEIの目標への大きな一歩となりました。感染を阻止し、ワクチン投与率を上げ、子どもの死亡率に影響を及ぼす長期的な計画であるにもかかわらず、新しい取り組みや、新たなパートナーのおかげで世界的に前進しています。しかし、この進歩もポリオが残る3か国(アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリア)で撲滅しない限り、危険にさらされています。近年、中東とアフリカの角でポリオが突然発症したことは、ポリオがすべての地域を脅威にさらしていることを思い出させてくれました。これらのポリオ常在国でポリオが撲滅するまで、すべての国でポリオウイルスが流入した際には迅速に見つけ、その影響を最小限にするために、細かいサーベイランスを継続し、高いワクチン投与率を保つ必要があります。現在、世界の人口の80%は、ポリオがなくなったとされる地域に住んでいます。今までになく目標に近づいています。

GPEIは、各国政府、WHO、国際ロータリー、CDC(アメリカ疾病対策センター)、ユニセフが主導し、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団など官民の連携パートナーによって支援されています。1988年GPEIが発足した当時、ポリオで命を落としたり手足が不自由になったりする子どもは年間35万人いましたが、2013年には99.9%減少し、406件の発症が報告されるまでになりました。